

今年、(財)星総合病院では初めて男性職員が育児休業を取得しました。産後休暇や育児休業中の職員を対象とした『ランチョンママセミナー*』に参加したので、その感想を掲載いたしました。

ランチョンママセミナーに参加して ～ “パパ” としての参加第1号～

今年、2月に子供が生まれ、4月から育児休暇を取得して、子供も8ヶ月になりました。育児は、昼夜問わず子供の生活に合わせなくてはならないので仕事も忙しく感じますが、毎日のように成長を見せてくれるので楽しくやっています。

最近では、家事や育児をする男性も増えてきたようですが、「家事・育児＝女性」という考えや体制は社会に広く浸透しています。その為か、オムツ交換台が女性トイレにしか無い事や育児書も女性向けが多い事等、多少バリアを感じています。また、保健所主催の子育て教室にも行ってみましたが、やはり、男性は自分だけなので、少し気後れしてしまいました。しかし、ランチョンママセミナーでは、知り合いもいる為いろいろ話をすることが出来ました。子育てについての悩みや相談の内容に男女差は無いので、とても参考になりました。また、財団全体の近況等も知ることが出来るので、復職に対する不安が多少緩和しました。

長期の育児休暇は、収入面や仕事のスキルに反映されない等の理由で、休暇取得を躊躇する事もあると思います。しかし自分は思い切って休暇を取得し、その結果、とても充実した毎日を過ごす事ができ、いつも家族や周囲に感謝しています。

ランチョンママセミナー…当法人が産後休暇や育児休業中の職員を対象に行っている支援制度。子育てに関する不安を軽減させたり、日頃のストレス発散、当法人の近況報告を行い、職場へのスムーズに復帰できるように支援することが目的です。